

訪ねてみたい宝の情景

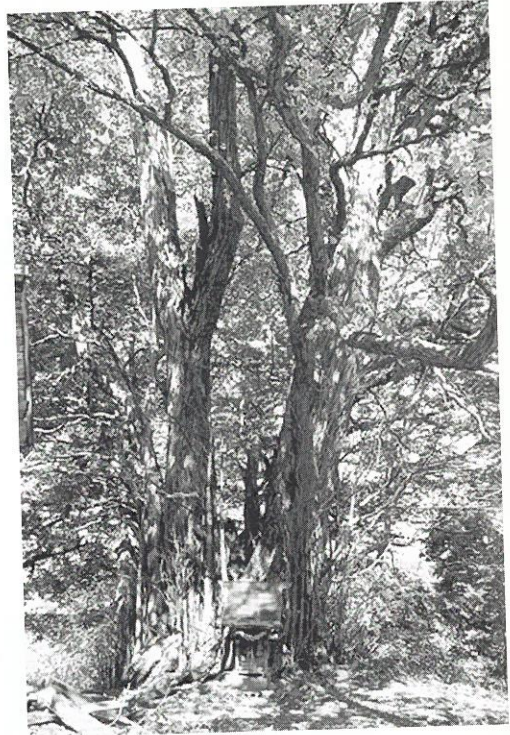
～巨木を訪ねて～

楽しく美しい
まちづくり通信 87

安比川の岸に大きくそびえ立つカツラの木が見えます。市天

小池のカツラ

暦の上では大暑も過ぎ、立秋に向かおうとしています。これから二戸祭りの笛の音を聞くころまでは、まだまだ暑い日が続きます。この季節、水辺や木陰が恋しくなりますが、大きな木の下で静かな時間を過ごしてみるのもいいものです。



小池のカツラ

然記念物に指定されている佐藤清見さん所有の「小池のカツラ」です。二戸市内の巨木を幹回り順に並べてみると、上位のほとんどがカツラです。その中でもこの木は、ほかを圧倒する迫力があり、幹回りの大きさが一番になった巨木です。

伝説では、浄法寺町の天台寺を開山した行基僧正が、つえにしていたカツラを地面に逆さに突き刺したところ、その枝から芽が出て成長したといわれています。

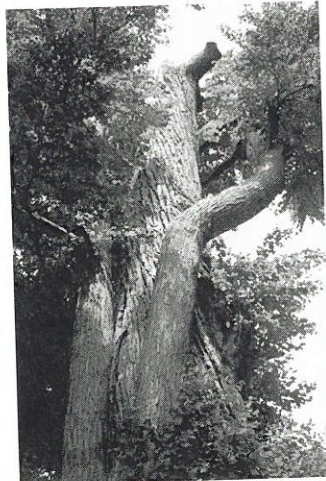
カツラは、芽吹き前の三月末から四月にかけて真っ赤な花をつけ、遠目には木全体が赤く見えます。新緑のころから夏にかけては、太陽の光にキラキラと輝く緑が美しく、また秋にはハート型の葉が黄色に紅葉し甘

いにおいを放つなど、季節ごとの美しさで人々の目を楽しませてくれます。

カツラと清水

堀野の武内神社の山門入口に「神水」といわれる「御手洗池」の清水がわいています。この清水は、古くは造り酒屋の仕込み水としても使われていた名水で、今なお冷たく、参拝の人々に愛されています。

この池のほとりには、樹齢八百年と伝えられる市指定天然記念物のカツラの巨木が立っています。



武内神社のカツラ

「カツラの木の下を掘ると水がわく」といわれるように、カツラは水とのかかわりが深い木です。市内のカツラの傍らには清水がわいている所が多く見られます。

武内神社のカツラと清水も永い間共存し、涼しげな情景を見せてくれる二戸の宝です。

馬淵山公園まつり

豪華けんらん。県北最大級の花火大会。いろんなゲームや出店コーナーもあります。

8月11日(日)

午前10時～午後9時

(雨天の場合は翌日に順延)

花火大会は午後7時30分開始予定

馬淵山公園特設会場

